

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2019年3月25日

事業所名：放課後等デイサービス げんきっこ

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|--|--|--|---|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 | 学校内敷地なので、スペースは広くならない。 | 室内に関しては、部屋の広さに比べて児童の人数が多いように思います。 | 活動の支障になる様な物は排除し、より良い療育ができる環境整備に努めます。 |
| | 2 職員の適切な配置 | 職員不足の日もあり、人数を増やしていきたいと思えます。 | ・いつもどの程度、職員の方々が入っておられるかわかりません。何人に対して何人の職員配置でしょうか？ ・たまにキズをおってきます。もう少し頑張らせてください。 | 保護者様にスタッフの人数がわかるように今後、説明していきます。また、早急に職員の確保ができるよう、動いていきます。 |
| | 3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備 | 車椅子ではスペースが狭く、利用が難しいと感じることがあります。 | ・配慮されている。 ・どちらでもない。 | 活動の支障になる様な物は排除し、より良い療育ができる環境整備に努めます。 |
| 業務改善 | 1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画 | 毎日の朝礼・終礼等で話し合っています。 | | 今後は研修等を行い、職員が積極的に参画できるよう、目標設定と振り返りを行っていくように努めます。 |
| | 2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 | 現状、第三者による外部評価は行っていません。 | | 今後第三者の外部評価の導入を検討していきます。 |
| | 3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 | 研修には参加している。 | | 今後は職員が積極的に受講できるように進めてまいります。 |
| 適切な支援の提供 | 1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | 作成しているが、今後は一人一人のペースや課題に合ったより良い計画を立案していきたい。 | | 児童・保護者の声に耳を傾け、より良い計画作りに取り組んでまいります。 |
| | 2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成 | アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、放課後等デイサービス通所計画を策定しています。 | 学校より家より何よりも「げんきっこ」に行くことが楽しいようです。 | より細やかな項目や支援内容の設定に努めます。 |
| | 3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 | 計画等での必要な項目を設定し、連絡帳にその日に記載を行っています。 | | より支援計画に沿った目標の達成が出来るように適切な支援の実施を行っています。 |
| 適切な支援の提供(続き) | 4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施 | 個々の計画に即した支援の実施をしています。 | | 引き続き行っていきます。 |
| | 5 チーム全体での活動プログラムの立案 | 職員全員で話し合い、より個々に合った活動プログラムを立案していきたい。 | | 活動内容の検討や振り返りを行っていきたく思います。 |
| | 6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援 | 平日、休日に応じて活動プログラムを立案していますが、課題設定は休日に特化しておりません。 | 毎日遅くまで申し訳ありません。とても助かります。ありがとうございます。 | 休日や長期では、平日に出来ない活動を取り入れたりする等、内容を熟考していきたいと思えます。 |
| | 7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施 | 季節に応じた制作やイベント等、行っていきたく思います。 | | 児童の様子を見ながら、季節・利用時間等に応じて活動内容を計画し、内容が偏らないよう配慮していきたいと思えます。 |
| | 8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底 | 朝礼、終礼で随時確認をしています。 | | 児童の様子を振り返り、気づいた課題等があれば意見を出し、支援の見直し・改善を行っていきたく思います。 |
| | 9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気づいた点などの情報の共有化 | 日々の出来事を振り返る事が大切だと思う。 | | 記録の入力は担当した職員が入力するようにしているが、入力した内容以外で気づいた事があれば気づいた職員が追記しています。職員間の情報共有に努めて参ります。 |
| 10 日々の支援についての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施 | 支援記録票に記載、月報で状態把握を行う。 | | 今後も記録の徹底を意識し、改善に努めて参ります。 | |
| 11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し | 定期的なモニタリングを行っています。必要に応じた見直しを心掛けています。 | | 今後も定期的なモニタリングを実施し、児童の実態に合っているか計画の見直しを図ります。 | |

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2019年3月25日

事業所名：放課後等デイサービス げんきっこ

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|---------------|--------|--|--|--|
| 関係機関との連携 | 1 | 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画 | 参加しています。 | ケース会議には児発管が出席し、相談支援員との情報共有については日々意識しています。 |
| | 2 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 | 該当児童なし。 | 現在は該当児童がいませんが、該当児童の利用があった場合、対応していきたいと思います。 |
| | 3 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 | 該当児童なし。 | 現在は該当児童がいませんが、該当児童の利用があった場合、対応していきたいと思います。 |
| | 4 | 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有 | 計画相談事業所を通じて、支援内容・方法の情報の共有を行っています。 | 各機関と連携し、必要に応じて情報も共有させていただきます。 |
| | 5 | 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供 | 情報提供をしスムーズな移行支援ができるようにしている。 | 法人内であれば密に情報伝達を行いますが、それ以外であるとなかなか細やかに提供をすることが出来ていない状況です。今後はこちらからの発信もしていけるよう改善したいです。 |
| | 6 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 | ・現在、他事業所又は他機関との連携が取れておらず、どのようにつながりを持っていくかが大きな課題となっている。多職種連携も視野に入れ、今後の対応を考えたい必要性を感じているが、実行には移せていない。 ・職員に研修情報等を提供し意欲的に参加できるような体制を確保する努力をしている。 | 職員に研修情報等を提供し、意欲的に参加できる体制を確保できるよう推進していきます。 |
| | 7 | 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供 | 機会は提供しているが、交流機会を増やしていきたい。 | ・行っているかどうか把握していない。 ・わからない 児童・保護者様のご要望、ご意見を伺いながら必要に応じて検討していきたいと思います。 |
| | 8 | 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営 | 開所時には説明会を開いていましたが、招待するほどの行事を現在は行っていません。 | ・行っていない。 ・わからない。 児童・保護者様のご要望、ご意見を伺いながら必要に応じて検討していきたいと思います。 |
| 保護者への説明責・連携支援 | 1 | 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 | 障害児支援利用計画について説明し、利用までの流れをお伝えしている。 | 丁寧な説明をされています。 今後も丁寧な説明を心掛け、徹底していきます。 |
| | 2 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明 | 現状保護者様にも面談等で詳細をご説明しています。 | されていると思う。 今後も契約時に配慮しながら説明していきます。 |
| | 3 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施 | 保護者様からの相談に対しては、家族支援として個別に対応しているが、保護者への積極的なトレーニングの実施には至っていません。 | わからない。 今後は保護者様に対しての、話し合いや支援研修を充実していきたいよう、検討したいと思います。 |
| | 4 | 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底 | 送迎時やお迎え時に状況を伝達するようにしている、 | 共通理解ができている。 送迎時の伝達や電話連絡、連絡ノートでのやりとり等、意識しています。計画作成の際は可能な限りお話を伺う場を設定しています。 |
| | 5 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 | いつでも相談を受ける体制をとり相談助言を実施している。 | されていると思う。 相談等があれば随時対応できるよう、これからも務めてまいります。 |
| | 6 | 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援 | 十分な連携支援ができているとは言えないので、検討が必要。 | なかなか出席できず、申し訳ありません。 何人かの保護者同士で連携活動はあるが、全体での連携はまだ弱いので、改善していきたい。 |
| | 7 | 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | 保護者からの苦情は少ない現状だが、ケースにより対応スピードの差がある。 | ・対応している。 ・どちらとも言えない。 保護者様からの問い合わせや要望には、迅速、丁寧に答えられる様に努めていきたいと思います。 |
| | 8 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 | わかりやすく丁寧な対応が必要だと思う。 | わからない。 ・連絡ノート等への記入、定期的な面談、電話での情報交換等、児童の状況に応じて対応していく必要がある。 ・できる限り視覚的に情報を取り入れられるよう、紙ベースやホワイトボードの活用も検討していきたい。 |
| | 9 | 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 | 発行してる。内容については工夫が必要だと思う。 | わからない。 有意義な内容を発信できるよう、職員間で検討していきます。 |
| | 10 | 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | 個人情報は決められた場所に保管し、個人について知り得た情報は口外しないようにしています。 | 取り扱いには十分に注意されている。 今後も流出等がないように十分注意をしていきます。 |

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2019年3月25日

事業所名：放課後等デイサービス げんきっこ

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|---------|---|---|----------------------|---|
| 非常時等の対応 | 1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 | 各種マニュアルは策定しているが、保護者様まで十分な周知はできていません。 | ・されている。 ・どちらでもない。 | 保護者様への周知は十分でないので、職員間で検討し、改善に努めていきたいと思います。 |
| | 2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 | 年に二回、定期的に避難訓練を実施しています。 | ・されている。 ・どちらでもない。 | 今後は計画性をもって実施し、保護者への通知も徹底していきます。 |
| | 3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応 | 研修はあるが、職員間で話し合いの場が必要だと思う。 | | 職員間で情報共有し連携できるよう、努めていきます。 |
| | 4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | 面談時に説明を行い、理解を得られるよう努めています。同意していただいた後に同意書に署名捺印をしていただいています。 | | 今後も理解を得られるように努めていきます。 |
| | 5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 | 保護者様から情報を頂き、利用開始前に食物アレルギー有無の確認を行っています。 | | 今後も保護者様との連携を密にし、確認していきます。 |
| | 6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 | 情報共有が必要だと感じる。 | | 今後はヒヤリハットを文章で保存し、事業所会議で共有できるように努めていきます。 |